

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和2年 2月 20日

事業所名 たにやま たんぽぽ

保護者数(34) 回収数 28 割合 82 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28					利用児の実態、活動内容に応じて、パーテーション等で仕切られた空間や、プレイルーム(遊戯室)を使用している。 見学・電話・メール等での対応もできる体制を整えている。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	26			2	・判断基準がわからない。	障害者総合支援福祉法に基づき職員を配置している。また、年度初めに学園全体の人員配置名簿が発行されているので確認をさせていただく。 園外からの利用児に関しては、職員の体制等を記載した資料を配布していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24			4		指導訓練室に段差はない。事業所のトイレ等は踏み台等を置く等年齢に応じて配慮している。 利用児の年齢や状態に応じて、職員が見守りを行ったり、手を繋いで誘導したりと配慮している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28					朝夕方掃除・安全確認を行っている。異常があった場合は、すぐに学園側に報告し対応している。 感染症対策についてはマニュアルを作成し、適切な対応ができるよう努めている。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	28				・支援計画等、詳しく説明してもらっています。	児童発達支援計画の支援内容は、利用児の実態とご家庭で取り組む場合の支援ポイント等を記載し、支援方法や要望等ご相談がある場合は、面談や電話・メールで対応できる体制を整えている。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	24			4	・ガイドラインが細かく表示されていますが、正直王すぎてよくわからなくなる事があります。(先生方が話されている内容等は適切だと思います。)	児童発達支援計画の支援内容は、利用児の実態にもよりますが、年齢に合った成長ができるよう目標設定をし、また、ご家庭で取り組む場合の支援ポイント等を記載している。その目標に向け明確な達成度や支援期間、支援の適正に応じて、ご家族との面談を実施し定期的に確認をしている。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	27			1		児童発達支援計画に基づき、保護者や全職員で共通理解を図りながら一人ひとりの支援を行えるよう努めている。疑問やご要望等ご相談がある場合は、面談や電話・メールで対応できる体制を整えている。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	22			6	・固定化されていてもそれが本人に必要な良いと思っています。	利用児の実態に応じ、対人・運動・認知等の活動内容を、職員間で話し合いながら日々チームで行っている。また、知識の定着の為に、プログラムを固定する場合もある。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25			3		それぞれ通園している保育園や幼稚園で交流はあるが、事業所としての交流や活動は行ってない。通園経験のない利用児を必要に応じて、学園とご家族に相談をし園児と交流する機会を設けることもある。
10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28					利用契約時、契約書、重要事項説明書の説明を行っている。また、変更があった場合は文書にてお伝えしている。	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	25			3		児童発達支援計画の内容をご理解していただけるよう、具体的にイメージしやすい事例を用いたり、わかりやすくお伝えできるように心掛けている。	
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	14	3		11	・家庭での子どもへの接し方をわかりやすく教えてもらっている。 ・トレーニングはないが、利用毎に相談に乗って頂いている。その頻度なので有り難いです。 ・家族支援プログラムというのがよくわからず申し訳ないが、困ったこと相談には乗ってくれるので助かります。	利用児の実態、支援ポイント等お伝えしているが、全ての保護者(ご家族)にお伝えできていない現状である。様々な家庭環境の中で、その過程に適した支援内容を伝えていけるようにする。	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	25	1		2	・子どもの様子を細かく見てくれている。 ・子どもの状況、日々の活動の内容を教えていただく機会をもう少し設けて欲しいです。	バリエーションや事業所へのお迎え、面談、電話等で利用児の状況、課題をお伝えし共通理解を図っている。	

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28				<ul style="list-style-type: none"> ・毎日丁寧に相談のつってもらえる。 ・子どもの状態や支援の内容を細かく説明して頂き、たくさんの助言を頂けるので、納得しながら療育をすすめることができています。 ・疑問等的確に回答頂けると感じています。 	面談時にはご要望や困っている事など無いか確認を行うようにしている。また、電話やメール等での対応も早い保護者が安心して育児(子育て)に取り組めるよう努めている。また、これからも要望があれば、すぐに面談ができる環境を作る。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	2	6	13		保護者同士が交流できる部屋はあるが、利用児の実態などそれぞれ異なる部分もある為、積極的な開催は行われていない現状である。保護者からの要望があれば、交流できる環境を作るようにする。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	26				2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回迅速な対応をさせて頂いています。 	今回の保護者アンケートのご意見においても今後の取り組みについて参考にサービスの質の向上につなげていく。疑問やご要望等ご相談がある場合は、面談や電話・メール等で対応していく。随時見学も受け付けているが、随行事後先のため、行事が入った場合は時間の変更をする事がため、事前連絡をさせていただきようお伝えしている。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	26	1			1		視覚的アプローチによる支援を行う等、利用児にあった支援を行っている。連絡網の対応は現在取り組めていない現状ですが、疑問やご要望等ご相談がある場合は、面談や電話・メール等で対応できる体制を整えている。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14	1	2	11		<ul style="list-style-type: none"> ・面談もありますが、半年に一度でもいいので、何がどう出来たなどを教えていただけたらと思います。 	学園と同じホームページに載っている。評価表等の公表は今回が初めてのため今後とも公表していく。行事予定等は学園側に沿っているため、事業所としては計画を立てていない。変更事項等がある場合は、必要に応じて配布を行う。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25				3		プライバシーの配慮等、職員への周知徹底や、契約書に記載している内容を、契約時に説明を行っている。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15		1	13		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園として思う。 ・引渡しの手続き等、対応されていると思いますが、訓練まで実施しているかは分かりません。 ・幼稚園でも避難訓練が行われているので、たんぼほでも問題ないと思います。 	学園側の対応に沿っており、避難訓練等年に数回行っている。また、各種マニュアルを整備し、職員への周知を図っている。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18				10		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	27				1	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団は楽しいのだが、個別では苦手なことが多いからか、楽しくない時もある様子。 	一人ひとりの現状や今後を想定しながら支援を行っている。その中で、苦手なことにも取り組む利用児もいる為、来所を嫌がることもある。そのような時は保護者と状態を共有しながら、成長に繋がるように努めている。
	23	事業所の支援に満足しているか	28					<ul style="list-style-type: none"> ・子どもは成長でき、親はわからないことを教えてもらえる。子育てをする上で心強く思う。 ・大変満足しています。 ・回数を増やして欲しい。 	今後も保護者と情報共有・相互理解を図りながら、より良い支援ができるよう努めていく。

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。